



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 53 2111 内線240



宝剣の舞

1992

7

No.315

金木八幡宮で行なわれた
津軽神楽



金木さなぶり荒馬

受け継がれる 伝統芸能

県の無形文化財『金木さなぶり荒馬』を中心とした「虫送り」が6月13日、7年ぶりに復活。五穀豊穰を祈願し、町内を練り歩きました。荒馬は本来二人の手綱引きによる馬耕の所作を表現したもので、田植えが終わった後さなぶりと称し、田の神に感謝を捧げ、稲の加護、豊作を祈願する「虫送り」行事の中心として伝えられてきたものです。が、江戸時代初期、四代藩主信政公が民情視察のため金木村を突然訪れたとき、村はずれの丸木橋を馬に乗ったまま供奴二人に手綱をとらせ一回、二回とうしろにさがり右に引き左にまわり、三回目にはさつそと橋を渡った見事な姿に村人たちが感激し、村の誉れとして永久に残そうと虫送りの荒馬踊りに取り入れるようになったものです。

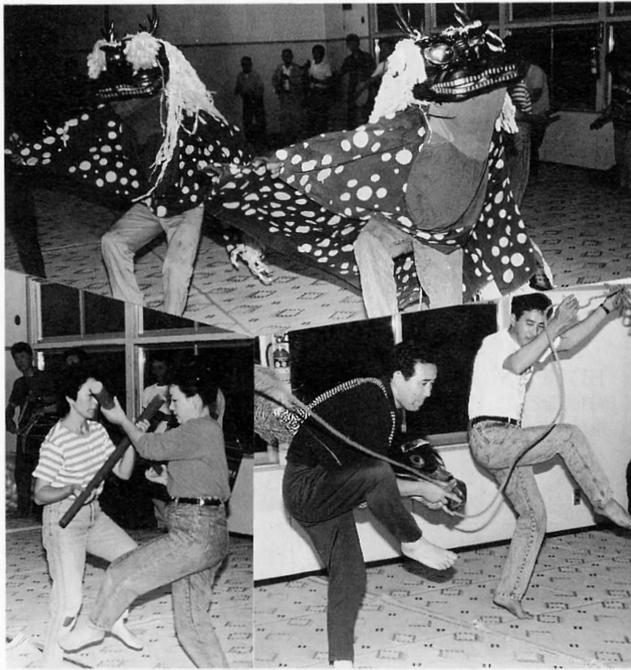
荒馬踊りに魅せられ

古くからの伝統芸能『金木さなぶり荒馬』に魅せられ、保存会を結成。県の無形文化財にも指定され、東北6大祭の「みちのく芸能まつり」に招待され、ますます張り切る金木さなぶり荒馬保存会徳田長弘会長にインタビューをしました。

— 今晩は。役場の広報担当です。荒馬の事で取材に来ました。練習中すみません。

徳田 どもども、どうもご苦労さん。

— 今晩は。役場の広報担当です。荒馬の事で取材に来ました。練習中すみません。



夜遅くまで続けられた練習風景

— メンバーは何人いますか？
徳田 現在30人です。女の人も8人います。新規会員を募集していますので、ぜひ参加して下さい。

— 練習はいっしょしてるのですか？
徳田 週2回仕事終わってからしています。

— 大変でしょう？

徳田 仕事終わった後だから多種多様の仕事でみんな一緒に集まるのがなかなか大変です。

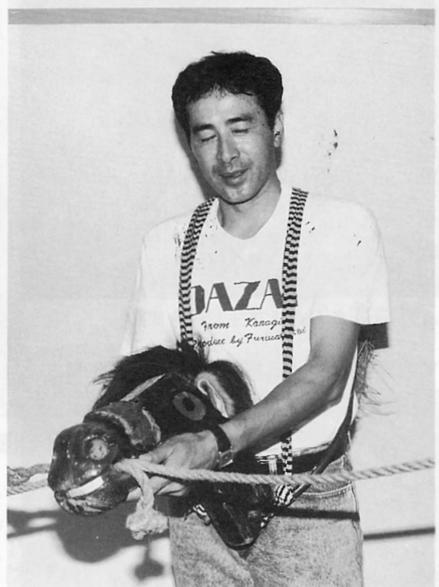
虫送りの復活

— 今年、町を練り歩きたいわゆる「虫送り」を復活させたのはどうしてですか？

徳田 去年、小学生を中心子ども会で「金木子どもさなぶり荒馬」を結成した影響も多分にあるけども、古くからの伝統行事を我々が伝えていかなければ無くなってしまおうと思って復活させました。

— 古くからの伝統を守りつづけるには大変な苦労があると思えますが？

徳田 踊りがけっこう激しいから年配の方にはキツくて、それで引退する人もいます。



馬を腰に夢を語ってくれた徳田長弘会長

最近フエで青森県で一番になったことがある、20歳前後の若い衆が2人入ってきたんで心強いです。女の人もいます。でまとまりが付いてきました。

東北6大祭に参加

— 8月に北上市で発表会があるそうですが？

徳田 はい。「みちのく芸能まつり」です。東北6大祭の一つで、全国から郷土芸能を集めた祭です。

— みちのく芸能まつりですか？

徳田 岩手県では一番大きい祭です。全国でもトップクラスの連中が集まるし、お客さんからお金を取って見せる有料の舞台だから、きちっと練習して気合い入れていかなければ

ば。出演料はないけどもね。(笑い)

— 初めて出るんですか？
徳田 13年ぶりで3回目になります。荒馬はすごく人気があるんですよ。

将来は外国で荒馬が...

— それでは、これからの夢を聞かせて下さい。

徳田 そうですね、新会員を増やして、どんどん活動して将来は外国で踊ってみたいですね。

— 忙しいところありがとうございます。大変だと思いますが、次世代のために伝統を守り続けるよう頑張ってください。

在 健 気 人 宰 太

第44回桜桃忌に200人

太宰を偲ぶ

玉川上水に身を投じ44年、6月19日は金木町が生んだ作家太宰治の命日である。

今年も太宰によくあう雨が降りしきる中、津島園子さんをはじめ県内外のたくさんの方々が集い、しめやかに『第44回桜桃忌』が行われ

ました。
芦野公園の登仙岬にある太宰文学碑に、遠くは秋田・関東などから約二〇〇人が参列。田中町長が「第44回目の桜桃



太宰文学碑に献花する田中町長



▲お礼の言葉を述べる津島園子さん

▼献花するファンの方々



忌に町内外から金木町にご足労下さいまして衷心より感謝申し上げます。絶えない太宰人気に応えるよう頑張ります。」と挨拶した後、太宰にちなみな名川町からサクラノボが供えられました。そして、園子さん、関係者、集まったファンが次々に文学碑に列を作り花を供え、太宰を偲びました。

太宰は幸せ

献花のあと園子さんは「私たちは年をとっていくが太宰はいつまでも青年のままでありつづける。父の生き方にかぶとを脱ぎます。今日は父のためにこうして集まっていただき有難うございました。」とお礼の言葉を述べました。八戸市から訪れた太宰ファ

ンの女性は「斜陽が好きでファンになりました。金木へ来るのは初めてですが、こんなにステキな池や公園で四季折々と感懐を述べていました。」

太宰を語る

この後、中央公民館に場所を移し、文化講演会が行われ

金木高校の外崎恵さんが「女生徒」を朗読。太宰の後輩にあたる木立民五郎さんが「太宰を偲んで」と題し、講演。太宰の若かりし頃のエピソードなどを話しました。

また、斜陽館では「太宰を偲ぶ会」が行われ、集まったファンはそれぞれ太宰の思いを語り合っていました。



▲外崎恵さんが「女生徒」を朗読



▼太宰のエピソードを話す木立民五郎さん

交通死亡事故ゼロ 1500日達成



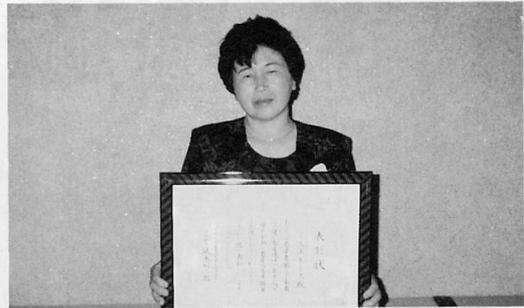
表彰状を手にする毛内英文支部長

「これより更に二千日、三千日目指して頑張ります」と述べた。

交通死亡事故ゼロ一五〇〇日
を達成した、金木町交通安全協
会嘉瀬支部（支部長＝毛内英文）が
このほど金木警察署（署長＝奈良正昭）から表
彰を受けました。

嘉瀬支部管内での死亡事故は、昭和63年に起きた事故以来、

三上さんが 肉用牛振興で表彰



表彰を受けた三上キミさん

6月24日、平成4年度西北五地区家畜衛生指導協議会総会で神原の三上キミさんが青森県家畜畜産物衛生指導協会（会長＝鳴本利三郎）から表彰を受けました。

三上さんは、昭和56年から12年間、夫・清久さんと共に肉用牛飼育に従事し、現在、黒毛和種繁殖牛13頭を飼育。地域肉用牛の振興に貢献したことが認められ、今回の受賞となりました。

役場の玄関が庭園に



みごとなツツジネ。え？サツキよ

19日から21日までの3日間、役場に來るお客さんに、さつきを楽しんでもらおうと町民ホールで「さつき展示会」を催した。

昨年引き続き、金木盆栽会（会長＝葛西繁則）が6月

嘉瀬老人クラブ 「ゾーキン」プレゼント



おばあちゃんありがとう。大切に使います

ゾーキンを嘉瀬地区の各施設にプレゼントしました。

地域社会に何らかの貢献をしようとして嘉瀬老人クラブ（会長＝木村金利）では、毎日何枚かづつ作り置きしていたゾーキンを嘉瀬老人クラブの白川ミツさんと鳴海タメさんが、各施設に出向き手渡ししました。

ゾーキンを受けた嘉瀬小学校児童会副会長の津田正哉君と書記の鳴海里江さんは「嘉瀬小学校のために大切に使用させていただきます。ありがとうございます。」とお礼を述べました。

ゾーキンを受けた嘉瀬小学校児童会副会長の津田正哉君と書記の鳴海里江さんは「嘉瀬小学校のために大切に使用させていただきます。ありがとうございます。」とお礼を述べました。